

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2019」

入賞作品として「TVF2019 アワード」(38 作品) を決定

- 応募総数は111作品 — 小学生～90代のシニアまで幅広い世代が応募 —
- 60代以上のシニア世代が賞状の入賞18作品、20代までの若い世代からも13作品が入賞
- ドキュメンタリーから36作品が入賞 — 今回も“ドキュメンタリーのTVF”に—
- 入賞者・ビデオファンが集う「TVF2019 フォーラム」を2日間にわたって開催(2/9(土)・10(日))
～「ビデオ大賞」(1作品)を審査委員が決定・発表する「公開審査会」を2日目に開催～

特定非営利活動(NPO)法人「市民がつくるTVF」(代表理事:小林はくどう)が主催する、今年で10回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2019」(TVF2019)には、111作品(国内:110作品/海外:1作品)が寄せられ、このたび、応募作品の中から入賞作品となる「TVF2019アワード」として38作品を決定しました。入賞38作品は、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1作品)へのノミネート作品となります。「ビデオ大賞」は審査委員による「公開審査会」(後述)にて決定・発表します。

そして、入賞者とビデオファンが集うTVFの一大イベント「TVF2019 フォーラム」は今回、来る2019年2月9日(土)・10日(日)の2日間にわたって開催します(会場:武蔵大学 江古田キャンパス(東京都練馬区) *一般開放・入場無料)。

初日は、「TVF2019アワード」の入賞者を表彰するとともに、「TVF2019アワード」に選ばれた38作品を題材として取り上げながら、入賞者はもちろん、来場者も交えて、会場全体で映像制作について語り合う「セッション」を行います。「セッション」は、入賞作品の内容に応じて3つのテーマを設定し、3部構成を予定しています。

2日目は、審査委員が「ビデオ大賞」をライブで審査・決定・発表する「公開審査会」を実施。また、特別賞の「TVFジャーナリズム賞」と「市民賞」の発表・表彰も行います。さらに、映像教育に取り組む指導教員や学生を招き、プレゼンテーションやディスカッション等を行う特別企画として「映像教育の現場から(仮)」(武蔵大学 永田ゼミとの共同企画)も予定しています。

■「TVF2019 フォーラム」の概要(予定)

- [日時] 2019年2月9日(土)「セッション」(3部構成)、「TVF2019アワード」表彰
10日(日) 公開審査会、「ビデオ大賞」表彰、特別企画、交流会
*「セッション」会場全体で入賞作品や映像制作について語り合います。
*詳細は「『TVF2019 フォーラム』プログラム(予定)」(P.3)をご参照ください。

[会場] 武蔵大学 江古田キャンパス
(住所:東京都練馬区豊玉上1-26-1)

[参加費] 無料 ※交流会は有料。

■「ビデオ大賞」「特別賞」の決定・入賞者の表彰

- ・「ビデオ大賞」の決定・発表:「TVF2019 フォーラム」2日目、審査委員による「公開審査会」にて。
- ・「市民賞」「TVFジャーナリズム賞」の発表:「TVF2019 フォーラム」2日目の授賞式にて。
- ・「TVF2019アワード」の表彰:「TVF2019 フォーラム」初日の各セッション内にて。

「東京ビデオフェスティバル 2019」応募作品・応募者の概要

1. 応募総数

- ・応募総数は 111 作品（国内：110 作品／海外：1 作品（ドイツ））。

2. 応募世代

小学生～90 歳のシニア層まで、幅広い世代が応募。

3. 世代別傾向

- ・高校生・大学生を中心とする 20 代までの若い世代が 58 作品（全体の約 52%）で最も多い。
- ・次いで 60 代以上のシニア世代から 38 作品（同 約 34%）。

4. ジャンル別傾向

- ・ドキュメンタリーが最も多く 84 作品が寄せられ、全体の約 76%。
- ・その他、ドラマ 23 作品（同 約 21%）、CG／アニメーション／アート 4 作品（同 約 4%）。

「東京ビデオフェスティバル 2019」入賞作品・入賞者の傾向

1. 60 代以上のシニア世代が貫禄の入賞 18 作品、20 代までの若い世代からも 13 作品が入賞

高校生から 90 歳までの非常に幅広い世代が入賞しています。今回は、60 代以上のシニア世代が約半数となる 18 作品が入賞し、さすがの貫禄を見せました。20 代までの若い世代からも 13 作品が入賞。近年の傾向通り、この 2 世代が入賞を分け合うかたちになったものの、シニア世代が若干、上回りました。

2. ドキュメンタリーから 36 作品が入賞、今回も“ドキュメンタリーの TVF”に！

応募作品全体の約 8 割と大多数を占めたドキュメンタリー作品は、秀作・良作揃いでもあり、入賞も 36 作品と圧倒的な結果となりました。なお、他のジャンルでは、ドラマ、アートから各 1 作品が入賞しています。

3. 多彩なテーマ／視点の入賞作品群

1) 「戦争」「社会」「福祉」をテーマに取り上げた入賞作品（13 作品）

“戦後 70 年”を経て、戦争をテーマとした作品が多く寄せられており、今回も 6 作品が入賞。また、社会問題となっている医療や高齢化、あるいは現代の流行や社会現象等、社会や福祉に関する 7 作品が入賞しています。

2) 「地域」「文化」「自然」に目を向けた入賞作品（13 作品）

“TVF の見どころ”でもある、身近な地域の伝統や文化、自然や環境等に目を向けた作品では、今年も 13 作品が入賞しています。

3) 「家族」等、「人」を見つめた入賞作品（5 作品）

家族や自分等の近い人物や、地域で活躍する人物等、「人」を見つめた 5 作品が入賞しました。被写体となる人物の姿・表情をありのままに映し出すとともに、作者との関係性を浮き彫りにする良作が揃っています。

4) 映像自体の表現、被写体の表現活動等、「表現」に関する入賞作品（7 作品）

作者の作品手法としての映像表現、あるいは被写体となる人物が行う表現活動等、さまざまな「表現」に関する 7 作品が入賞しています。

■「TVF2019 フォーラム」プログラム（予定）

【初 日】2019年2月9日(土)／12:50～18:50（12:00 受付開始）

〈進行〉

- ・ 12:50 開会宣言、主催者挨拶
- ・ 13:00～ セッション：「TVF2019 アワード」の表彰、討論
[内訳]
 - ・ 13:00～ セッション1（テーマ：「戦争」「社会」「福祉」／13作品）
 - ・ 15:00～ セッション2（テーマ：「地域」「文化」「自然」／13作品）
 - ・ 17:00～ セッション3（テーマ：「人」「家族」「表現」／12作品）

【2 日目】2019年2月10日(日)／9:30～17:30（9:00 受付開始） *交流会（18:00～19:30）

〈進行〉

- ・ 9:30～ 「特別賞」（「市民賞」・「TVF ジャーナリズム賞」）の発表・表彰、
「TVF ジャーナリズム賞」の専任審査委員によるトーク
- ・ 10:40～ 公開審査会、「ビデオ大賞」表彰
- ・ 13:30～ 特別企画「映像教育の現場から(仮)」
- ・ 17:30～ 記念撮影、閉会宣言
- ・ 18:00～19:30 交流会

■入賞作品の公開（Web 配信）

- ・ 当法人ホームページにて入賞した 38 作品を公開中（Web 配信）
当法人ホームページにて、入賞 38 作品の映像と作品解説を公開中です。
- ・ 「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ（NPO ホームページ）URL
URL <http://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50 音順・敬称略）

大林 宣彦（映画作家）
小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学客員教授）
佐藤 博昭（ビデオ作家・武蔵大学講師）
村山匡一郎（映画評論家）

（アドバイザー）

椎名 誠（作家）
羽仁 進（映画監督）

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（敬称略）

神保 哲生（ビデオジャーナリスト）
筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員）
長野 智子（キャスター）
下村 健一（白鷗大学 客員教授・元 TBS 報道アナウンサー・NPO 法人 市民がつくる TVF 理事）

■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」
「TVF2019 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。
- ・「TVF2019 アワード」
「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。
- ・「TVF ジャーナリズム賞」
特別賞。「TVF2019 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。
- ・「市民賞」
特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2019」の作品応募者の審査投票により選出されます。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル」(TVF/日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来通算 41 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 10 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

* 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。

< 「TVF2019 アワード」 (38 作品) 一覧 >

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	都道府県
1	アンコンシャス・バイアス ～無意識の偏見を持つ私たち～	北星学園大学放送研究会 ジャーナリズム研究会	—	12 : 49	北海道
2	かずのこに生きる ～本村誠一さんの執念～	有沢 準一	81	13 : 19	北海道
3	ダモイ～シベリア抑留者の証言～	北海道旭川工業高等学校 KBS 旭工放送局	—	18 : 49	北海道
4	地域医療は、地域が守る。	稚内北星学園大学 地域医療プロジェクト	—	20 : 00	北海道
5	エルマー〈学童〉の挑戦！	石川 勝	64	19 : 58	栃木県
6	弟とキャッチボール	熊捕 聖奈 (埼玉県立芸術総合高等学校)	—	6 : 21	埼玉県
7	白壁の町 あかり灯して	住田 勝	75	9 : 43	埼玉県
8	めぐみ、ファイト！	加藤 秀樹	59	19 : 59	埼玉県
9	門を作ろう	埼玉県立川越高等学校放送部	—	11 : 26	埼玉県
10	私は自撮り依存症の女	大川 晃弘	36	20 : 00	埼玉県
11	施設の窓より	内田 リツ子	90	6 : 20	千葉県
12	むかしの女性は どうしていたの？生理用品の記録 ～見たり聞いたり作ったり訪ねたり～	伯野 朋絵	51	14 : 14	千葉県
13	アゲハチョウに感謝を込めて！	荻原 義正	80	14 : 48	東京都
14	いつもの場所で	伊藤 奏乃/岩崎 瑠美/谷本 桜 (上智大学水島ゼミ)	—	15 : 15	東京都
15	神は細部に宿る ～こだわりのジオラマ～	蒲 宏樹	71	14 : 00	東京都
16	グローブマスター機墜落事故	和田 ユリ花 (中央大学 FLP 松野ゼミ)	23	20 : 00	東京都
17	コツコツ！ヘタヘタ！！	山内 節美	71	10 : 00	東京都
18	人生のしあわせ	古川 一清	68	10 : 02	東京都
19	魂の叫び ISAMU NOGUCHI 石の造形	深澤 博雄	84	15 : 05	東京都

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	都道府県
20	ダリアの縄	東京大学大学院 学際情報学府 水島 C 班	—	19 : 53	東京都
21	乗るか飾るか	河野 照夫	78	9 : 33	東京都
22	南阿蘇に生きる	原 啓介 (中央大学 FLP 松野ゼミ)	24	19 : 52	東京都
23	わがフォトライフの原点	鈴木 賢士	86	15 : 10	東京都
24	「私は何者であるのか...」 —ある台湾人学徒の証言—	松本 弥彩暉 (中央大学 FLP 松野ゼミ)	20	19 : 18	東京都
25	アイコンタクト	大隅 楠夫	75	9 : 00	神奈川県
26	日本	半澤 優 (東京工芸大学)	21	19 : 30	神奈川県
27	火縄の夢	福山 健明	65	10 : 00	神奈川県
28	笑いあればこそ	佐藤 昌孝	74	14 : 22	神奈川県
29	ドローンの悲劇	関 幸徳	68	10 : 10	新潟県
30	放映 7 カットの詳細	吉野 和彦	57	18 : 37	長野県
31	F 氏の認知症予防	福住 尊眞	77	19 : 42	岐阜県
32	あなたは戦場で人を殺せますか	同朋高等学校放送部	—	9 : 40	愛知県
33	Muybridge?	近藤 颯人 (成安造形大学)	22	3 : 31	滋賀県
34	「妹と私」みき演劇セミナーでの 5 ヶ月	関西大学 総合情報学部 岡田ゼミ兵庫チーム	—	19 : 41	大阪府
35	僕とおじいちゃん —ヒガンバナの咲く頃に—	谷口 正治	68	17 : 15	兵庫県
36	カバンが重い	佐々木博光、広島市立牛田中学校 共同制作	83	11 : 30	広島県
37	蛇王とひまわり 土砂災害の街から	礪本 高彰 (広島経済大学徳永ゼミ)	22	19 : 58	広島県
38	父ちゃん	国本 隆史	37	15 : 40	ドイツ

注)・作者名敬称略。団体入賞のうち年齢表記のあるものは、代表者の年齢。

・国内・海外の順、国内は北から都道府県順、作品名の 50 音順 (英数字優先) で記載。